

ミニシンポジウム開催のお知らせ

文学とジェンダー

日時:2017年11月2日(木)

午後2時～午後5時

場所:A15棟2階中会議室

2時～3時

馬王堆の『胎産書』

大形徹

『胎産書』は前漢初期の馬王堆という墓から出土した帛書です。女性の胎教と出産後の胞衣(えな=胎盤)の埋め方などが記されています。本発表では当時の中国での胎教や出産、胎児について『胎産書』に基づいてお話したいと思います。



3時10分～4時10分

『女殺油地獄』の女性たち

河合眞澄

近松門左衛門の浄瑠璃『女殺油地獄』は、一人の青年が犯した当時の殺人事件にもとづいて作られています。殺された近所の女房や青年の母・妹が、この浄瑠璃の中でどのように描かれているかを見て行きます。



4時20分～5時 自由討論

※参加は無料ですが、事前にメールまたは葉書で下記までお申し込み下さい(講演会の後、近くのレストランで懇親会を予定していますので、懇親会参加の有無も合わせてご連絡下さい。懇親会の出欠は10月20日(金)までにお願いします)。

問い合わせ・申込み先:

人間社会システム科学研究科 村田京子 (bal@hs.osakafu-u.ac.jp)

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学